シンポジウム 2001年の地球経済

▷パネルディスカッション「岳南経済の理想の21世紀像」

6月22日富士市農協会館で、「2001年の地域経済」というテーマのシンポジウムが開かれました。これは市内の若手経営者などで組織する、富士青年会議所が主催したもので、会場のホールには、約500人の人が集まりました。

第1部は、「技術革新と企業経営」というテーマで㈱三菱総合研究所取締役会長の牧野昇氏が基調講演を行いました。

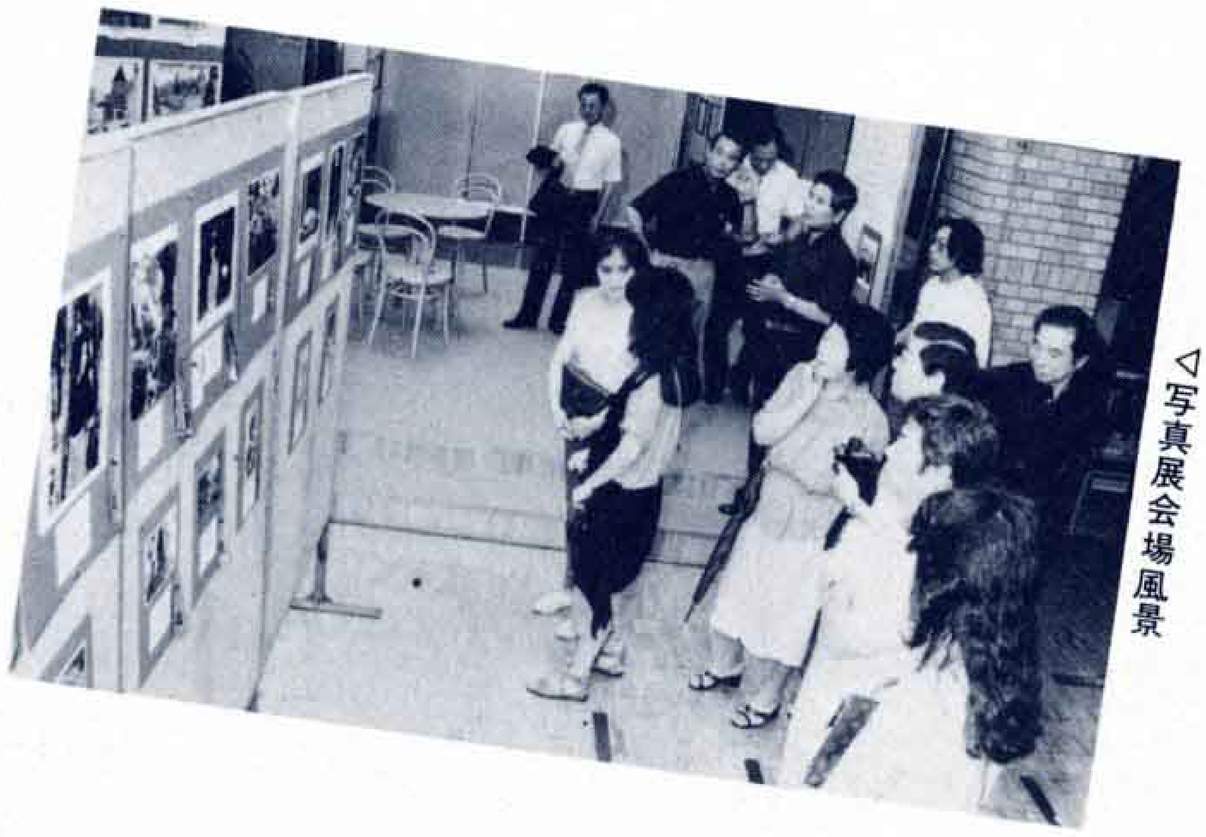
第2部は、渡辺市長ほか4人でパネルディスカッションが行われ、富士市の産業、文化について外から見た期待、斬新な提言が出されました。

ふるさと村 春まつり写真展

ふるさと村春まつり写真展表彰式が、6月23日八百半デパート6階催事場で開かれました。

応募作品277点の中から、入賞作品29点が、展示、表彰されました。

審査評では、「上位のレベルは、なかなかの水準をいっています。特にモデルを扱った作品は、接戦で選ぶのに苦労しました」。と言われるぐらい、力作ぞろいで、訪れる人達の目を楽しませていました。



◁写真展会場風景

街の話題

ワァーめずらしい

△かわったハチの巣（トックリバチの巣）

おや！珍しい素焼のトックリ。実は、トックリはトックリでも、スズメバチ科に属するトックリバチの巣。

南町の内田栄一さん宅で発見された代物（しろもの）。巣の大きさは、約12センチで、泥を練って作られており、シマ模様の濃淡が実に見事。

一見古代の土器をも思わせる珍しい形にチョットした街の話題となっています。